

自然体で暮らす／いなか王国・高知県安田町

まんま

Vol.8

Enjoy Country Life
YASUDA CHO

「第8号」2006 SEPTEMBER 9

“まんま”
いぢばん!!



安田町
ふるさと便
Vol.8



素材が味やけど
おいしいでけど

3日前までに要予約
期間限定!

味工房じねん『鮎御膳』

鮎の塩焼き、甘露煮、姿寿司、背ごし、フライと、鮎を堪能できる隠れメニューです。

鮎御膳

1人前 **2,500円**
※消費税込み

※詳しいお問い合わせ、ご注文は
下記までお電話またはFAXでどうぞ。

味工房じねん／〒781-6430 高知県安芸郡安田町正弘566

TEL.0887-39-2366 FAX.0887-39-2367

編・集・後・記

今回もたくさんの方に取材協力をしていただき、ありがとうございました。こんな場所、こんな人を掲載してほしいという情報がありましたらFAXにてお知らせください。



お問い合わせは

安田町役場総務課

〒781-6421 高知県安芸郡安田町大字安田1850

TEL.0887 -38- 6711 F AX.0887 -38- 6780

HP <http://www.town.yasuda.kochi.jp/home.htm>

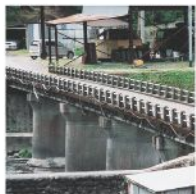
E-mail ysd-somu@town.yasuda.kochi.jp

安田町役場中山支所／〒781-6430 高知県安芸郡安田町大字正弘 716 -2
TEL.0887 -39-2008 F AX.0887 -32-4008



安田町

この町には、未来を創る宝があります。
未来に残したい技や味があります。
だから、今日も元気でがんばります。



Contents

13	11	10	9	7	5	3
子ども居場所	安田町西島●ふれあい広場 in やすだ	安田町の定置網	安田町安田●長町爾朗さん	味工房じねん	安田町与床●西岡益龜さん	安田町人物紹介
						安田町唐浜●小松加世さん
						道具作り
						安田町正弘●北村晴一さん
						今昔写真館
						なつかしマップ





ているようです。

思い思いの遊びに興じる子どもたちですが、特に人気は卓球。今こそ卓球台が設置されていますが、最初はテーブルに手づくりのネット。

それでも「本当に楽しそうで、子どももつてすい」と感心しました」とサポーターの2人は話します。

毎週土曜日は体験学習。卓球教室のほか、おはなしの会やハイキングなど、家庭ではなかなか体験できないメニューが勢ぞろい。遊びの世界が「層豊かなもの」に広がっています。

これからの社会を担う子どもたちは、安田町の大切な「宝」。成長を育む遊び場として、「ふれあい広場」の役割に期待が集まります。



●サポーターの
木下真美さん(左)と
松本千鶴さん(右)



ふれあい広場 in やすだ
安田町西島40-2 TEL.0887-38-5711
安田町地域教育推進協議会・安田町教育委員会

子どもの居場所



社館や中山公民館を会場に、自由遊びや体験学習が行われています。

地域ぐるみでつくる子どもたちの居場所

テレビゲームやスポーツ活動、通塾などに加え、少子化の影響もあつて、子どもたちの放課後は様変わり。子どもたちが集って遊ぶ放課後の光景は、安田町でも最近では目にすることが少なくなってきました。

そこで、子どもたちの放課後や休日地域全体で見守り、豊かで安全なものにしていくという取り組みが始まっています。平成17年度より「ふれあい広場 in やすだ」を開設。町内の福祉館や中山公民館

放課後や休日
元気な声が響く遊び場に

平日の午後3時、学校を終えた子どもたちが次々に福祉館にやってきました。待っているのは、活動を見守り参加するサポーター。20代から80代の地元の人14人が登録し、毎日2人が交代で参加しています。

サポーターの1人で、お孫さんが「ふれあい広場」に通っているという木下貞美さんは、「見守るというよりも一緒に遊んで遊んでいます。子どもたちから元気をもらっていますね」と話します。「私自身、知り合いやお友達が増えたのがうれしい」とは、町外出身で2人のお子さんが参加している松本千鶴さん。「ふれあい広場」は大人のネットワーク作りにも一役買っ

安田町の 定置網

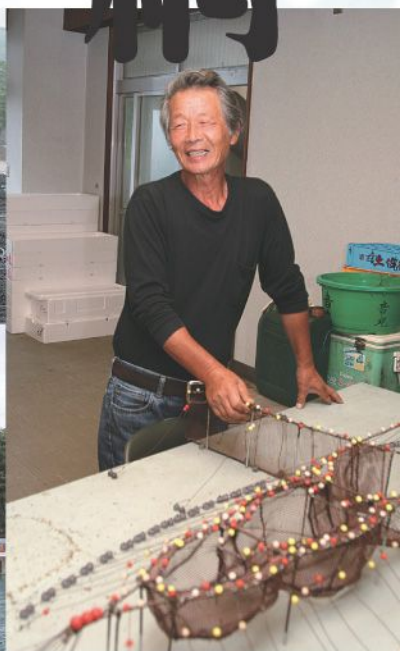
海面に網を設置し、回遊してきた魚を網に追い込んで漁獲する定置網漁。安田町では戦後から行われ、現在も1基が唐浜の6km沖合いで操業しています。漁は10月1日から翌年の7月31日まで行われ、アジやサバ、マイワシなどが水揚げされます。中でも、マイワシは県内水揚げ量1位を誇っています。定置網の網元である長町爾朗さんと安田町漁業協同組合参事の小松秀人さんに、話を聞きました。「サバやアジは昔に比べると獲れなくなった。今はマイワシが高値をつけているので、漁獲高を保っていますが」と長町さん。大衆魚の代表だったマイワシ

ですが、今は1匹500円もする高級魚。安田町で獲れたマイワシは関東方面に出荷されます。

時には、珍しい魚がかかることもあります。小松さんによると「去年はカジキマグロが1匹獲れました」と小松さん。本マグロが入ることもあるといいます。

2ヵ月の休漁中はもちろん、毎日の操業にも網や漁具のメンテナンスは欠かせません。天候に左右されるだけに、悪天候ならば漁に出られない日が続くこともあります。反面、好漁ならば夜明けと昼の2度出漁。「網おこし」といわれる漁獲中は、ローラーに指を挟まれるなどの事故が起こる、危険を伴う作業でもあります。

「決して楽な仕事じゃない。若い漁師が減ってきているのも事実。でも、1日で水揚げ2000万円や3000万円になるような大漁のときの気分はこたえられん」と長町さんは醍醐味を話します。



●定置網の網元
長町爾朗さん(右)
●安田町漁業協同組合参事
小松秀人さん(左)





ふるさと の味。

清らかな水と
空気が育てた
新鮮な素材。
真心こめて
供します。



季節の素材を使用したオリジナルアイス(全14種類)



「味工房じねん」では、そのま
ま安田の味をお届けします。

手塩にかけて育てた新鮮な
野菜。それらを手間ひまかけて
おいしく味付けをした素材で温か
い料理の数々。「味工房じねん」では、
安田町自慢の特産品、名物料理が揃っ
ています。「じねん」で料理やメニュー作
りに取り組む西岡益亀さんに、四季折々
のおいしい話を聞きました。

「安田のおいしいもと言え、やっぱ
り鮎です。初夏になると、今年は
豊漁かどうかと気をもみます。山里で
すから、春は竹の子や山菜、イタドリや
フキがえい。秋はむかご。それから、
中山米はモチモチしちよつてまっこと
おいしい。11月の終わりがころからは自然
薯の収穫が始まります」と西岡さん。

代表格の鮎を堪能できる隠れメニ
ーが、鮎御膳(2500円・3日前まで
に要予約・期間限定。鮎の塩焼き、甘
露煮、姿寿司、背ごし、フライと、鮎尽
くしの料理が並びます。

四季の産品をていねいに加工し、通
年楽しめる味に仕立てているのも「じ
ねん」ならでは。すりおろした自然薯
を冷凍で真空パックにした「とろろん
番」(700円)をはじめ、大葉の佃煮
「青じそつくくん」(200円)、蒟の佃
煮「きやらぶき」(150円)などを売っ
ています。「じねんまんじゅう」(2



●味工房じねん
西岡益亀さん



50円)、「自然のアイスクリーム」(2
10円)も忘れてはならないところ
でしょう。
安田町で採れた新鮮な産品を、愛
情いっぱいの手づくりで食べられる喜び。
安田町の美味が、ここにはぎゅつと詰ま
っています。



味工房じねん
安田町正弘566
お問い合わせ先/
TEL.0887-39-2366
※裏表紙にも掲載





「味工房じねん」の一角で販売されているはんぼ(飯台)や竹かご、葛編みのかご。製作者の北村晴一さん、御年98歳と知ればさぞや驚くことでしょう。

「昔から、いろいろな道具を手づくりすることが好きでした。はんぼや木桶、竹ぼうきなどいろいろと作りました。竹かご細工を覚えたのは80歳過ぎ。ほとんど見よう見まねです」と北村さん。

特に竹ぼうきは掃きやすさと丈夫さで好評。人に頼まれたりで、北村さん製作の道具類は数知れません。

現在は1人暮らしで、日常の家事や菜園での野菜づくりなど

八十の手習いで覚えた竹細工 好きだからこそできたこと

どほとんど1人でこなしています。ひざを痛め、竹などの材料を取りに山に入ることができないため、残念ながら製作作業はストップしています。

「元気で長生きするコツは、早寝、早起きして、自分の好きなことをして暮らすこと。自分にとって、それは道具作りだったんです」。どうぞ、いつまでもお元気で。



●安田町正弘在住
北村晴一さん
(98歳)



いろいろな人と出会い、話す これぞ、「民宿」のおばちゃん醍醐味

「お通路さんや観光客、鮎つりのお客さんもやってきます。海外からのお客さんもお客さんとのやり取りが何よりも楽しい」という小松加世さん。始めて4年目の民宿「きんしょう」を切り盛りしています。

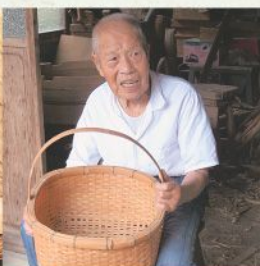
よさこい高知国体での宿泊の受け入れが、民宿をやるきっかけに。お世話をした選手たちとの出会いと交流の素晴らしさから、JA退職後、民宿を始めることを決意しました。

「いろんな人が来ますよ。『死に場所探しに…』なんていう若者に、喝を入れちゃったこともある」。なんとも気の置けない小松さんの人柄に引き込まれ、夜遅くまで話に花が咲くことも少なくありません。



●民宿きんしょう
小松加世さん
(66歳)
安田町唐浜2374-1
TEL.0887-38-7890

「県外にいる安田町出身の方が、うちを紹介してくれることもあって、ありがたいことです。旅の途中でぼつとくつろいでもらええるような、『言葉の接待』ができれば」と小松さん。民宿にはお客さんから贈られた絵や色紙などが賑やかに飾られています。





今と昔じゃあ風景も
だいぶ変わったさ、
写真で案内するさね。

新／安田町の町並み



旧／安田町の町並み



あたこたこ
あぐたれ

旧／町の子ども



新／台風被害



旧／台風被害



新／商店街中央入口



旧／商店街中央入口



12 新／ごめん・なはり線



旧／音楽のつどい

マナツカシ

釜ヶ谷の主の話

昔、東島に為さんという人がいた。生まれつきいごっそ者で「俺はこの世の中に恐いものがない」と云っていた。

ある朝、友達に為さんが云った。「安田川の奥の釜ヶ谷の淵は、主が居ると云うて人が漁をせんから、太い鰻がどっさり居る。今の時代に主が居るとか云う古い頃じゃもならん。二人で行って太い鰻をどっさり釣って皆をあとと云わそう。」そこで二人は支度をして、釜ヶ谷に行った。

釜ヶ谷の滝壺は底が知れないといわれ、その主の蛇神の伝説は昔から語られていた。見るからに寒気立つような物凄い場所であるが、二人は今正に針を掛けんとした。

そのとき、岩の間から爛々と眼を光らした大蛇が渦を巻いて現われ、うろこを鳴らして二人に躍りかからんとした。さすがのいごっそ者もこれには肝をつぶし、一目散に逃げ帰った。村の人家までたどりついた時には、二人の顔は土色になっていた。それから二人はしばらく寝付いて起きることが出来なかったという。



ほたるの里河川公園

- 空と海の展望公園
- 県指定保護文化財神峯神社
- 県指定天然記念物大くすの木
- 神峯寺



- 二十士副首領 清岡治之助碑

- 味工房じねん 旧中山小・中学校跡

- 鉄塔 (NTTドコモ・FOMA)



キャビン (宿泊施設)

- 北寺 国指定重要文化財 仏像群 (9体)

- 中山支所

- 中山小・中学校

- せせらぎの郷 小川
- ふるさと小川 地場産品販売所
- 川上神社

- 安田川 アユおどる清流キャンプ場



味工房じねんの
詳しい利用案内は
裏表紙をご覧ください。



- 6月鮎釣り解禁



おとり鮎を使う友釣り

- 安田市

- 中山ふるさと市

- 安田漁港



- 安田町 文化センター

- 安田小学校

- 福祉館

- 安田町 役場

- 安田幼稚園・安田保育所

- 安田中学校

- グループホーム 「くすのきの里」

- 鉄塔 (NTTドコモ・FOMA)

- 老人憩いの家 中芸軍鶏組合 安田場所

- 西法寺

- たの

- 土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線
- 奈半利町